

令和8年度 第1回 三郷市図書館及び視聴覚ライブラリー協議会会議録							
開催期日		令和8年6月17日（水）13時30分					
閉会の日時		令和8年6月17日（水）15時00分					
開催場所		三郷市役所7階 農業委員会議室					
出席状況		委員 10名中 9名 事務局 10名 傍聴 1名					
主な議題	(報告事項) 令和7年度事業報告について						
	(報告事項) 図書館運営基本方針及び令和8年度重点目標 について						
	(報告事項) 令和8年度事業計画(案) について						
	(報告事項) 日本一の読書のまち三郷推進計画の進捗状況について						
	(報告事項) 図書館の利用者又は入館者の遵守事項(案)について						
席次番号	委員氏名	摘 要	席次番号	委員氏名	摘 要		
1	鈴木 方子	㊤・欠	11		出・欠		
2	中川 進	㊤・欠	12		出・欠		
3	林 奈奈	㊤・欠	13		出・欠		
4	森田 みちる	㊤・欠	14		出・欠		
5	神田 佳明	㊤・欠	15		出・欠		
6	田口 啓子	㊤・欠	16		出・欠		
7	山上 礼子	㊤・欠	17		出・欠		
8	横井 直美	出・㊤	18		出・欠		
9	肥沼 武史	㊤・欠	19		出・欠		
10	土屋 かおり	㊤・欠	20		出・欠		
事務局出席者名							
教育長	檜垣 幸久	生涯学習部 部長	横田 隆宏	生涯学習部 副部長	名川 伸太郎	日本一の読書のま ち推進課長	茂木 光司
市立図書館長	横田 みさ	市立図書館長	木村 雅也	早稲田図書館長	三國 博子	北部図書館長	園田 久美子
北部図書館 主査	佐藤 有起	北部図書館 主査	千葉 利衣				
会議の概要または特記事項							

審議の概要

会議名		令和8年度第1回三郷市図書館及び視聴覚ライブラリー協議会
		1. 開会 司会・進行 園田北部図書館長 2. 委嘱書の交付 3. 教育長あいさつ 檜垣教育長 4. 委員紹介 5. 職員紹介 6. 会長及び副会長の選出
	肥沼会長	7. 議事（議事進行：肥沼会長）
	事務局	《議題1》令和7年度事業報告について ● 図書館の利用状況、各館事業の説明、3館合同事業について （令和7年度図書館事業報告・利用統計 資料1-1、資料1-2 参照） ● 企画推進系の読書推進の取組について （令和7年度企画推進係事業報告 資料1-1、資料1-3 参照） ● 視聴覚ライブラリーの利用状況について （視聴覚ライブラリーについて 資料4 参照）
	中川副会長	若者たちは聖地巡礼などが好きなので、アニメとの連携があると関心がぐっと広がるのだろうなと思う。このアニメに出てくる都市と姉妹都市協定を締結したというのがいいアイディアだった。 姉妹都市協定を結ぶにあたっての何かストーリーやきっかけなどがあったのか、また、反響があれば、教えていただきたい。 次に、クラウドファンディングの取組を昨年行っていて、市民が直接参加する方法として、お金を寄付して、これが直接読書のまちを推進するために直接役に立っているんだという感覚が得られるような取組をしていただけたことに、感謝申し上げたい。 それから、ふれあいブックワゴンの活動について、幼稚園協会としても、とてもありがたい。 司書の方が幼児に向けて、本を選んでくれて、希望する幼稚園、保育園、認定こども園に100冊貸出をしてくれる取組だが、本がやってくるのをこどもたちもとても喜んでいるので、この取組を充実させてくれたことに感謝するとともに、これからもさらに広げていただきたい。
	事務局	日本一の読書のまち宣言で日本一本とふれあえるまちを目指します、とPRさせていただいている関係で、おそらくインターネットの検索などからたどっていただけたのだと思う。今回の映画自体が、本のまちのお話なのでどうかとKADOKAWAから声をかけていただいた。姉妹都市協定の締結についても、把握している限りでは全国でも珍しい取組だったと思う。 こども司書が特別な試写にご招待いただき、声優をされた俳優さんとお話するという特別な経験もできたので、ありがたかった。関連する企画を青少年ホームと図書館でやらせていただいたが、県外からも参加があり、施設を回ってくれた。KADOKAWAからもさまざまな協力があり、原作本にふれる読書啓発にも繋がったと感じる。
	事務局	《議題2》図書館運営基本方針及び令和8年度重点目標について 《議題3》令和8年度事業計画（案）について ● 図書館関係 ● 企画推進係関係 （令和7年度運営基本方針及び重点目標、事業計画、事業予定 資料2、資料3 参照）

山上委員	以前は著名人や作家の方をお招きした講演会が文化会館で行われていて、私も何回か、とても興味深く参加した。今年度の予定はあるか。特集コーナーの例もあり、読書啓発にとっても良いと思っていた。
事務局	今年度は手配が難しかった。読書啓発にとっても良い事業であることは認識しているのでまた検討していきたい。
鈴木委員	資料 3-2 と、補足資料で北部図書館の休館期間の記載に齟齬があるのでご説明いただきたい。また、先ほど冒頭の、令和 7 年度の事業報告にあったらんどせるブックよもよもについては、小学校 1 年生のとても楽しい事業になっている。今年度、本の配付がなくなった。いろいろご事情もあると思うが、今後どうなっていくか。
事務局	北部図書館休館期間の記載について、現在、ようやく業者が決定し工事の詳細が見えてきたところで、補足資料の方が最新情報である。今後も調整をしていく。
事務局	らんどせるブックについて、ここ数年夏休みの図書館の利用が減少している。らんどせるブックの目的として、夏休みの利用促進があり、本の配付を含めるとどうしても秋口になってしまう。図書館の利用案内や希望者の登録の方に力を入れ、なるべく 1 学期中にご案内したいという事情がある。3 年生へのブックトークとあわせて 1 年生へ本の紹介をし、良い方法を考えていきたい。
事務局	《議題 4》日本一の読書のまち三郷推進計画進捗状況について (資料 5、資料 6 参照) 質疑なし
事務局	《議題 5》図書館の利用者又は入館者の遵守事項（案）について (利用 7 参照) 質疑なし
事務局	《議題 6》その他 きらりきらら読書だよりのペーパーレス化について (当日資料) 質疑なし
肥沼会長	私事だが、現在大学の方に勤め、東京や神奈川の先生とも一緒に働いている。私は三郷が長いので、日本一の読書のまち推進課がやってくれていることが、恥ずかしながら当たり前だと思っていた。ところが、周りの地方公共団体の様子を聞くと、職員だけではなく、保護者地域の方々についても三郷市はすごいと言ってもらっている。これは全然当たり前ではないのだとわかった。私が教育委員会に所属していた時はふれあい文庫が 2 か所だったが、現在は 30 を超えているなど、一生懸命頑張っている。それだけ特徴のあることをやるのは、他の市町村に比べて激務ではないかと心配しているほどである。読書人口が減っている苦しい状況の中だが、自信を持って仕事を続けていただいて、こどもの頃から読書に親しめるような状況になっていけば良いと思う。
中川副会長	閉会（閉会の辞：中川副会長）